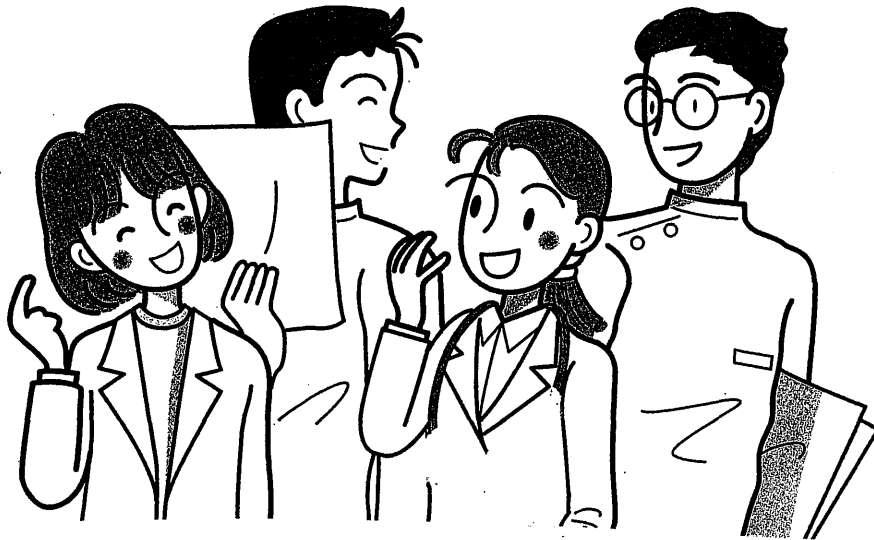


(2002年6月実施)

福岡県3歯科大・歯学部女子歯学生アンケート報告集

若い「力」に期待

期待と不安の女子学生たち



編集・発行：福岡女性歯科医師の会

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3丁目4-8

郵政互助会博多ビル4F 福岡県歯科保険医協会内

TEL) (092) 473-5646 / Fax (092) 473-7182

メールアドレス fukuoka-sk@doc-net.or.jp

♪ はじめに ♪

2001年「仕事との両立を探り、出産や子育てをともに考えよう」と発足した福岡女性歯科医師の会も今年で3年目を迎えました。

当時日本の女性歯科医師の割合は16%（1998厚生労働省）でしたが、その後も増加しています。

特に若い年齢層では29歳以下で36.6%となり、歯学部でも女子学生が50%を超えるところも出てきています。

このような状況の中で、2002年6月、福岡県内3大学の女子歯学生5・6年生を対象にアンケートを実施しました。内容は受験の動機から現在の大学生活や将来の希望を含むものです。

アンケート集計作業には大変時間がかかってしまいましたが、このたびやっのご報告できることになりました。結婚しても働きたい・子どももほしいという人間としてあたり前の希望が9割近い学生にありました。これは学生だけでなく現実に働いている私たち女性歯科医自身の希望でもあります。

アンケートに寄せられた学生さんの不安や期待には、私たち女性歯科医師の現在抱える問題も含めて、今後とも一緒に考え改善を求めていきたいと思えます。昨年の「第1回セタトーク」や、今年の「第2回セタトーク」などもその一環になります。

今回のアンケート作成の参考とした1988年実施の（福岡県歯科保険医協会実施・対象九州歯科大学、男女学生）結果も参考として掲載します。

2003年 秋



(女子歯科学生に配布した案内状より)

福岡県で学ぶ女子歯学生の皆様へ

皆さんお元気で毎日講義や実習に頑張っておられることと思います。
私達「福岡女性歯科医師の会」では、このたび女子歯学生の方々への
エールとして、



7月7日(日)に女性歯科医師としての

生き方や将来への展望の参考にして

いただけるよう講演・懇談会を準備致しました。

(詳しくは、別紙にてご案内しています。)

それに先立ち、女子歯学生の皆さんの思いを伺いたく思い、アンケート
を作りました。休み時間で書ける簡単なものですので、是非ご協力お願
い致します。

2002年5月 福岡女性歯科医師の会

「福岡女性歯科医師の会」は、昨年2001年4月に発足した、福岡県の女性歯科医師の
集まりです。メインの構成は福岡県歯科保険医協会に所属の女性歯科医師(100余名)
ですが、限定はしていません。

全国的には、数年前から全国保険医団体連合会(保団連)で女性医師・歯科医師の集
いが開催され、各地の県レベルでの集まりができつつあります。

福岡では発足以来、先進県のパワフルな方々の力をもらいながら活動して来ました。
発足に先立ち県内の女性歯科医師のアンケートをとりました。「今更女性だけで集まっ
ても……」というご意見もありますが、皆さんが様々の悩みや問題を抱えていたり、く
りぬけてきたことがわかり、いろいろ励まされるご意見をもらったりしています。

昨秋には、「3Dアートの会」という、遊びの企画をし、これには女性医師の方も参加
され、保育体制もとりました。現在は、「福岡保育ネットワークふくおか」という認可外
保育園(無認可保育園)の団体からの依頼で、ボランティア歯科検診を小児歯科の先生
の協力を得ながらはじめました。

今後も女性歯科医師のネットワークを広げながら、情報交換や、女性歯科医師の働く
環境等についても考えていく予定です。

【連絡先】 福岡県歯科保険医協会内気付き・福岡女性歯科医師の会

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3丁目4-8 郵政互助会博多ビル4F
TEL(092)473-5646/Fax(092)473-7182/fukuoka-sk@doc-net.or.jp

女性歯科学生アンケート

1. あなたご自身の年齢について

21歳・22歳・23歳・24歳・25歳・26歳・()歳

2. ご父兄のご職業

- () 医師・歯科医師
- () 自営業
- () 会社員管理職
- () その他()

3. 歯科大学受験の動機は？

- () 歯科医になりたいから
- () 偏差値が合致していたから
- () 医科の滑り止めに
- () 何となく
- () その他()

4. 入学の理由は？

- () 医療に関心があるから
- () 社会的評価が高いから
- () 経済的に恵まれているから
- () 親が歯科医だから
- () ただ何となく
- () その他()

5. 入学前とくらべて現在の心境は？

- () 良かったと思う
- () 期待に反した
- () とくにない
- () その他()

6. 歯科医になることへの不安はありますか？

- ①技術的なことに関する不安 ⇒ある・ない
- ②就職先に関する不安 ⇒ある・ない
- ③サービス業として患者さんと接することに対する不安 ⇒ある・ない
- ④歯科界の未来に対して不安 ⇒ある・ない
- ⑤収入に対する不安 ⇒ある・ない
- ⑥その他()

7. 現在大学への不満はありますか？

- ①男子学生との待遇を比べて不満がある。 ⇒ある・ない

- ②カリキュラムに対する不満 ⇒ある・ない
- ③将来の就職のあっせん等、進路指示について ⇒ある・ない
- ④指導者側への質の不満 ⇒ある・ない
- ⑤国家試験対策の不満 ⇒ある・ない
- ⑥その他()

8. 将来結婚を望みますか？

- (はい)と答えた方にお尋ねします。
- ①歯科医との結婚を望みますか ⇒はい・いいえ
 - ②何歳までに結婚したいですか？ ⇒()歳くらい
 - ③仕事を覚えること、また続けること、結婚の両立について不安を感じますか？ ⇒はい・いいえ
 - ④結婚しても仕事を続けたいですか？ ⇒はい・いいえ
 - ⑤子どもは欲しいですか？ ⇒はい・いいえ

9. 先輩歯科医師から、どんな情報が知りたいですか？ ※複数選択可

- () どのような進路に進むべきか？
- () 歯科界の現場の情報
- () 歯科医のプライベートな生活の情報
- () その他()

10. 何科に興味がありますか？

- () 予防歯科 () 保存 () 小児
- () 補綴 () 矯正 () 外科
- () 放射線 () 麻酔
- () 全身管理歯科(障害者・高齢者歯科) () その他()

11. 卒後すぐ、どうしたいですか？

- () 大学院に進みたい
- () 大学の医局に残りたい(院生ではない身分)
- () 開業医のところに勤めたい
- () 大きな病院の歯科に勤めたい

12. 将来開業を希望しますか？

- () 1人で開業したい
- () パートナーと一緒に開業したい
- () 開業しない
- () 歯科医師の仕事を、ずっと続ける気はない

13. 講演会の講師にお聞きになりたいこと、その他何でもお書きください。

♪ご協力ありがとうございました。♪

歯科医師増に関する歯科医学生の意見

(福岡県立九州歯科大学……回答95名) 1988年6月実施

1. 貴方ご自身のことについて
- 平均年齢(24.7歳)
- (性別) *男(71名) *女(24名)
- (年齢) 23歳……14名 29歳……1名 22歳……1名 27歳……1名
 24歳……24名 30歳……1名 23歳……10名 33歳……1名
 25歳……15名 31歳……3名 24歳……8名
 26歳……10名 34歳……1名 25歳……3名
 27歳……1名 不明……1名

質問項目	男	女	合計	%
2. 父兄のご職業				
① 医師・歯科医師	7	4	11	11.7
② 自営業	13	1	14	14.9
③ 会社管理職	15	7	22	23.4
④ その他	35	12	47	50.0
	70	24	94	
3. 歯科大受験の動機				
① 歯科医になりたいから	46	11	57	60.0
② 偏差値が合致していたから	4	4	8	8.4
③ 医科の滑り止めに	12	2	14	14.7
④ 何となく	9	7	16	16.9
	71	24	95	
4. 入学の理由				
① 医療に関心があるから	37	13	50	46.3
② 社会的評価が高いから	11	0	11	10.2
③ 経済的に恵まれるから	19	0	19	17.6
④ 親が歯科医だから	2	2	4	3.7
⑤ 何となく	16	8	24	22.2
	85	23	108	
5. 入学前とくらべて現在の心境は				
① 良かったと思う	29	6	35	36.8
② 期待に反した	20	8	28	25.5
③ 特になし	22	10	32	36.7
	71	24	95	

6. 歯科医業の将来について				
① 希望が持てる	16	2	18	19.1
② 暗い	41	9	50	53.2
③ 特に考えない	13	13	26	26.7
	70	24	94	
7. 現在の歯科医師数について				
① 適正と思う	8	1	9	9.9
② 過剰と思う	48	18	66	72.5
③ 分からない	11	5	16	17.6
	67	24	91	
* 過剰と思う方にその対策は?				
① 学生定員の削減	39	15	54	61.4
② 国家試験を難しくする	8	1	9	10.2
③ 歯科医師の定員制・定年制	8	3	11	12.5
④ 活動分野を広げる	12	2	14	15.9
	67	21	88	
8. 卒業後の将来の進路				
① 独立して開業する	24	2	26	27.9
② 歯科の家業を継ぐ	5	1	6	6.5
③ 勤務医になる	35	13	48	51.6
④ 大学に残る	2	2	4	4.3
⑤ 行政職につく	0	0	0	0
⑥ その他	5	4	9	9.7
	71	22	93	
9. めざす進路は				
① 専門医をめざす	8	2	10	11.1
② 一般歯科で開業	56	8	64	71.1
③ その他	5	11	16	17.8
	69	21	90	
10. 一人前の歯科医として技術的に独立できるのは卒後何年位必要か				
① 3年位	19	5	24	25.8
② 5年位	42	12	54	58.1
③ 10年位	8	7	15	16.1

期待と不安の女子学生たち

「医療に関心があった」50%

福岡女性歯科医師の会では今年6月、福岡県内の女子歯学生5、6年生を対象にアンケートを実施しました。受験の動機から現在の大学生活や将来の希望を含む12の項目について、卒業を1、2年後に控えた歯科医師の卵の彼女たちがどんな意識を持っているのかを調査したものです。

私たちにとってはずいぶん昔の懐かしい『いつか来た道』であり、女子歯学生を持つ親にとっては我が子の悩みであり、何よりもこれからの歯科界を背負っていく後輩たちの期待や不安でもあります。このたびやっとアンケート結果がまとまりましたので分析も交えながら3回にわたり報告いたします。

アンケートをお願いするに当たり、初めてのことでルートがなく、いろいろなかたがたに大変お世話になりました。回収率が大学ごとにばらばらなのもその理由によります。ご協力いただいた各大学内の方々にこの場を借りてお礼申し上げます。（田箆祥子・松浦美智子 記）

◆アンケート回収結果は以下のとおりです。（ ）内は在籍者数

◇福岡歯科大学……回答数83名

6年生43名（45名）、5年生40名（40名）

◇九州大学歯学部…回答数34名

6年生22名（33名）、5年生12名（24名）

◇九州歯科大学……回答数58名

6年生30名（36名）、5年生28名（38名）

①年 齢 （表1）

大学5・6年生対象だったので、現役なら22・23・24歳のところであるが、3割がそれを越しているのは浪人経験や再入学の割合が高いと思われる。

昔に比べまたは他の学部には年齢層が広いのは、いろいろな経験をつんだ後勉学に取り組んでいるともいえ、頼もしく感じられるしお互いに刺激になると思われる。また本アンケートの結果がさまざまな意見に分かれた理由のひとつであろう。

②両親の職業 （図1）

両親の職業が医師・歯科医師が45%というのは多い。

ちなみに1988年に実施した九州歯科大学のアンケート（男女、*参照）では11%である。女性対象だからか、大学の違いか、あるいは14年の年差か？

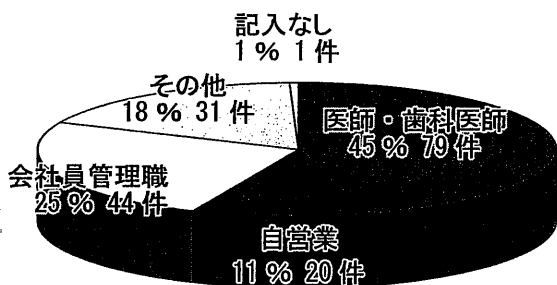
就職難の時期、女性でも手に職をつけておけば……との親・娘の考えも予想される。年々厳しくなる歯科界で、子どもには継がせたくないという話をよく聞くが、それでもやっぱり他職種よりはよいということだろうか？

一方半数以上が医科歯科以外と見れば、世襲でないことが歯科界に新しい血を吹き込み従来の歯科医とは異なった発想・考えで改革への期待ができるかもしれない。

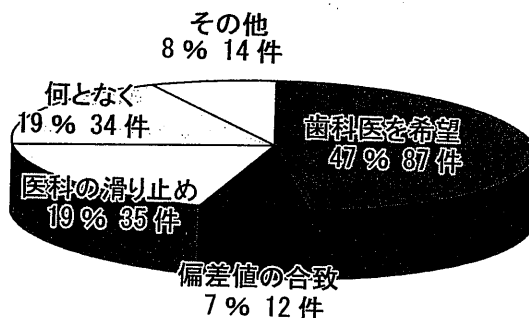
(表1) 「年齢は」

21歳	1名	1%
22歳	30名	17%
23歳	57名	33%
24歳	34名	19%
25歳	28名	16%
26歳	12名	7%
27歳	5名	3%
28歳	2名	1%
29歳	2名	1%
36歳	1名	1%
未記入	3名	2%
合計	175名	100%

(図1) 両親の職業

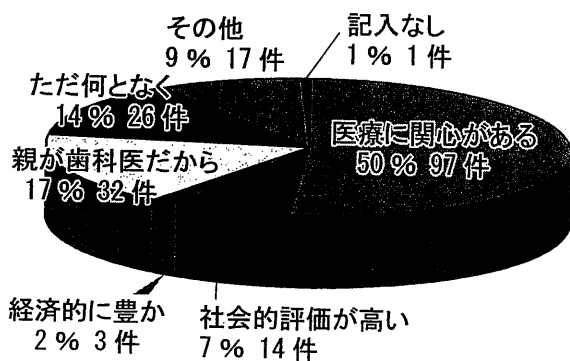


(図2) 歯科大学受験の動機



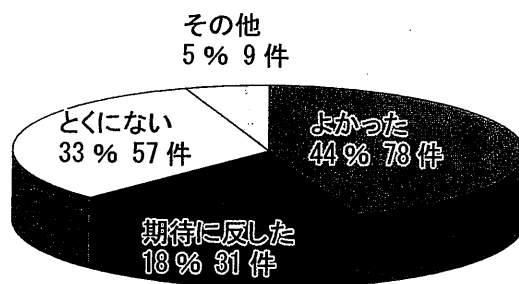
複数回答、延べ182件
 ※その他：資格、親の勧め、希望など

(図3) 入学の理由



複数回答、延べ190件
 ※その他：他学部を落ちた、近い、資格など

(図4) 現在の心境は？
(入学前と比べて)



③歯科大受験の動機 (図2)

「歯科医を希望」が48%というのは少ないように思われる。(ちなみに前記のアンケートでは60%)「偏差値・滑り止め・なんとなく・その他」が半分以上とは、6年間の過ごし方如何では、歯科医師になっても治療を受ける国民にとっては不幸なこととも言えるだろう。もっとも受験前はこの程度の動機ということだろうか？

④入学の理由 (図3)

「医療に関心がある」が51%は、少ない気がする。(前記のアンケートでは46%でもっと少ないが……)入学時点では、「社会的評価・経済・親が歯科医」等があるのもやむをえないことか？

③の質問とあわせて考えても少なくとも入学後は、医療に関心を持ってほしいものである。「経済的に豊か」が、前記アンケートで17.6%に比し、今回が2%だったのは、現在の歯科界の経済状況がある程度知っている事がうかがえる。

⑤現在の心境(入学前と比べて) (図4)

「よかった」が45%で、「期待に反した」が18%。この両者は、自分の進路を自分で見つけられる気がする。5年前後歯科を学んできて「特にない」の学生は、周りに流されないようにしてほしいものだ。「期待に反した」人たちがどのような「期待」を持っていたかを聞いてみたい。

*福岡歯科協会アンケート「歯科医師増に関する歯科医学生の意見」(1988年6月実施)対象九州歯科大学学生95名(男71、女24、平均年齢24.7歳)
今回の女子歯学生アンケートも、これを参考にして作製した。

「福岡県歯科保険医新聞」2002年12月20日号より



期待と不安の女子学生

福岡女性歯科医師の会では02年6月、福岡県内の女子歯学生5、6年生を対象にアンケートを実施しました。受験の動機から現在の大学生活や将来の希望を含む12の項目について、卒業を1、2年後に控えた歯科医師の卵の彼女たちがどんな意識を持っているのかを調査したものです。

私たちににとってはずいぶん昔の懐かしい『いつか来た道』であり、女子歯学生を持つ親にとっては我が子の悩みであり、何よりもこれからの歯科界を背負っていく後輩たちの期待や不安でもあります。前回に引き続き報告いたします。

◆歯科医になることへの不安について

- ①技術への不安は、歯科医になることへの不安のうち、一番不安を感じている方が多い項目（83%）である。実務の経験を積む必要を感じている方が多いのであろう。しかしその反面、不安がないと答えた方が17%もおられた。歯科の仕事は、歯科材料、治療方法などについて技術革新が急速で、患者さんにベストな治療をするためには、勤務や開業していてもその傍らで学会に出席したり、大学の同門会に所属してゼミを受講したり、保険医協会の主催する講演会などで日々研鑽勉強していく必要があるということを理解されていない方も、結構おられることがわかった。
- ②不景気で就職難のこの時期に、就職先への不安がないと答えた方の数が27%にもなった。医師・歯科医師の子弟が45%、会社員管理職の子弟が25%、以上合計70%で（協会紙12月号5面の質問2参照）、親の経済力が比較的恵まれていると考えられることから、学生さん自身、経済的には卒業差し迫っては心配していない方が結構おられたようだ。
- ③サービス業として患者さんと接することについては、不安のある方とない方が、同数であった。人と接することが苦にならない社交的な方達と、人と接することが苦手で口腔内だけに目を向けて、治療や研究に専念すれば済むと思ってきた方達に、はっきりと分かれたようである。開業医や勤務医という面では、歯科医業は明らかにサービス業。インフォームド・コンセントの重要性、患者さんとのコミュニケーションの大事さをまだそれほど理解されていない方達が多かったようだ。
- ④歯科界の未来に対しての不安は、歯科医になることへの不安のうち二番目に不安を感じている方が多い項目（79%）である。不況などの社会情勢が歯科医業にとっても厳しいものになって来ていることを、認識されている方が多い。
- ⑤収入に対する不安のない方が34%。②の項目とダブルが、学生さん自身、卒業差し迫っては経済的には心配していないと思われる方が結構多い。

〈 歯科医になることへの不安 〉

①技術への不安

ない	29	17%
ある	146	83%
合計	175	100%

②就職先への不安

ない	47	27%
ある	128	73%
合計	175	100%

③サービス業として患者さんと接することへの不安

ない	87	50%
ある	87	50%
未記入	1	1%
合計	175	100%

④歯科界の未来に対しての不安

ない	36	21%
ある	138	79%
未記入	1	1%
合計	175	100%

⑤収入に対する不安

ない	59	34%
ある	115	66%
未記入	1	1%
合計	175	100%

〈 現在の大学への不満 〉

①男子学生との待遇を比べての不満

ない	164	94%
ある	11	6%
合計	175	100%

②カリキュラムに対する不満

ない	58	33%
ある	117	67%
合計	175	100%

③就職や進路指導に対する不満

ない	70	40%
ある	102	58%
未記入	3	2%
合計	175	100%

④指導者側の質への不満

ない	62	35%
ある	111	63%
未記入	2	1%
合計	175	100%

⑤国家試験対策への不満

ない	84	48%
ある	87	50%
未記入	4	2%
合計	175	100%

〈 将来の結婚について 〉

①歯科医との結婚を望むか

いいえ	68	39%
はい	91	52%
未記入	16	9%
合計	175	100%

②仕事と結婚の両立への不安

ない	45	26%
ある	118	67%
未記入	12	7%
合計	175	100%

③結婚しても仕事を続けたいか?

いいえ	12	7%
はい	153	87%
未記入	10	6%
合計	175	100%

④子供は欲しいですか

いいえ	11	6%
はい	151	86%
未記入	13	7%
合計	175	100%

⑤何歳までに結婚したいか

年齢(歳)	件数(人)	%
24	1	1%
25	4	2%
26	5	3%
27	8	5%
28	25	14%
29	9	5%
30	77	44%
32	4	2%
33	2	1%
34	1	1%
35	14	8%
40	3	2%
50	1	1%
60	1	1%
未記入	20	11%
合計	175	100%

◆大学への不満について

大学への不満については、カリキュラム、指導者、就職や進路指導、この順に不満を示す方の割合が多く（いずれも約 60%）、大学そのもののあり方への不満を示す方の割合が多かったようである。しかし男子学生との待遇を比べての不満は、94%の方がないと回答。歯学部や歯科系の大学に女子学生の割合が増えたこと、男女雇用機会均等法の成立などの社会情勢も待遇改善に役立ったのではと推察される。

◆結婚について

①歯科医との結婚を望むかについては、約半数（52%）の方が、イエスと答えている。同じ志のもとで一緒に仕事を続けて行きたいという方、つきあう周辺の身近には歯科関係者しかいないという方、歯科医の伴侶は経済的に頼りになると考えられた方、様々な意見が隠れていると思われるので、是非その理由（歯科医を配偶者に望んだ理由）まで知りたいところである。

②何歳までに結婚したいかという問いには、44%の方が30歳までには、14%の方が28歳までにはと答えていて、いわゆる一般的な適齢期を気にしていない方が多いようである。晩婚化という社会の風潮だけではなく、技術への不安のある方が8割以上もいるため、結婚する前にまず技術の習得という意識が強いのではないだろうか。

③仕事と結婚の両立については 67%の方が不安と答えている。福岡女性歯科医師の会主催の『セタトーク』講演会でも、講師やアドバイザーへの質問がこの件に特に多かった。

④結婚しても仕事を続けたいかについては、はいと答えた方が87%もいる。社会への貢献、経済的な自立、仕事の達成感、人生の充実感とか、資格を生かせるなど、歯科の仕事に魅力を感じている方が多いようである。③と④の項目の実現（結婚しても仕事を続けること、そして家事、育児、介護などと関わりながら、仕事と結婚を上手に両立させること）のためには、まわりの環境を少しずつでも改善していく必要がある。

⑤子どもは欲しいですかという質問には、86%の方がはいと答えている。仕事を続けながら妊娠、出産、育児をしていくことにはかなりの労力を要し、そのためには社会的にも十分なサポート体制が必要であり、その環境も整えていかねばならないだろう。ともあれ④と⑤の項目を見る限りでは、女子歯科学生の方達の前向きな意欲が感じられて、同姓として頼もしい。

（麻生 郁子記）



若い「力」に期待

期待と不安の女子学生たち

3回にわたり女子歯学生のアンケート結果を報告してまいりましたが、アンケートを通して多くの学生さんの意識を垣間見ることができたばかりでなく、「セタトーク」では直接声をきくこともできました。その後も一部の方とは交流が続いています。6年生は卒業を間近にひかえ、願わくば100%進路が決まっています。欲しいものです。

入学の動機が何であれ、親の職業が何であれ、とにかく、臨床を志す人は患者さんにとって良い歯科医療の行える歯科医師になって欲しいのですが、その前に、歯科医師の仕事に夢を見出し、生きがいを感じることです。

学生さんを前にして、つい厳しい現実ばかりを語ってしまったような気がして、今になって大いに反省しています。こんなご時世だからこそ若い世代の彼女たちに夢と希望を語れる先輩でなければいけないのに。

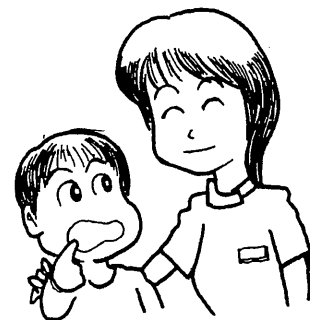
アンケートの中で大学の歯学教育に関する項目がありましたが、聞く限りにおいては、昔よりも教育内容が充実してきたとはとても言えないようです。大学自身がそのありかたに迷っている時代ですから、生涯にわたっての卒後の研修は歯科医療の質を高める上で最重要課題と言えかもしれません。

それから、将来の結婚に関する項目は女子学生ならではの質問になっていますが、結婚しても子供がいても仕事をしたい（87%）、配偶者が同業者でなくても一人で開業したいという前向きな回答に正直ほっとしました。

女子学生の比率が高くなっている昨今、もし彼女たちが結婚して歯科医をやめたら、もし夫婦でしか開業しないとしたら、この先、確実に歯科医院が減っていくわけですから。歯科医師過剰と言われる今こそ、歯科の新しい分野を切り開く力や、古いものを蘇らせる新鮮な日を若い力に期待したいものです。

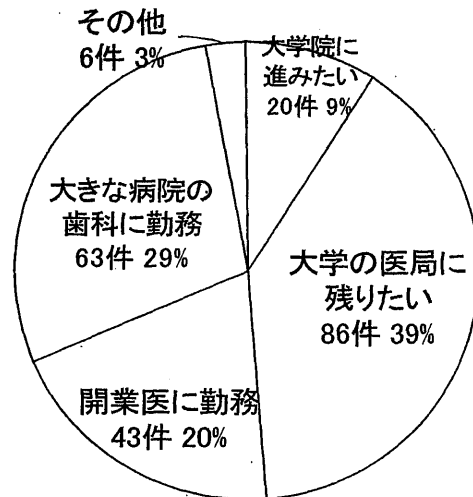
忙しくてついさぼりがちな女性歯科医師の会ですが、世代を超えた、職種を超えた交流が今後も期待できそうです。

（田箆祥子 記）



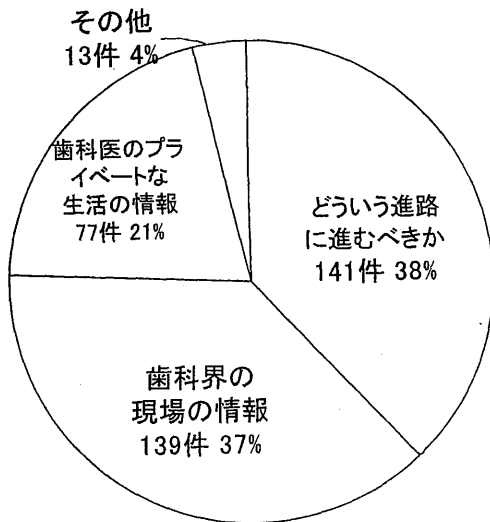
〈何科に興味がありますか〉

	人数	%
予防歯科	47	11%
補綴科	63	15%
放射線科	10	2%
障害者・高齢者歯科	43	10%
保存科	64	15%
矯正科	61	14%
麻酔科	27	6%
小児歯科	53	13%
口腔外科	44	10%
その他（未記入を含む）	10	2%
延べ人数（総数）、複数回答	422	100%



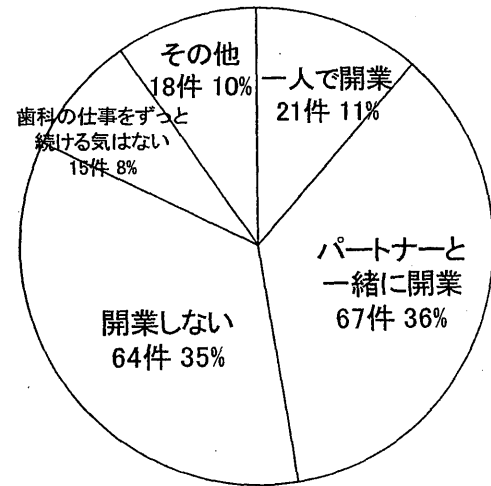
複数回答、延べ218件
※医科系の口腔外科は医局に残る

〈卒業後、すぐどうしたいですか〉



複数回答、延べ370件

〈先輩歯科医から知りたい情報とは〉



複数回答、延べ185件

〈将来、開業を希望しますか〉